



報道関係各位



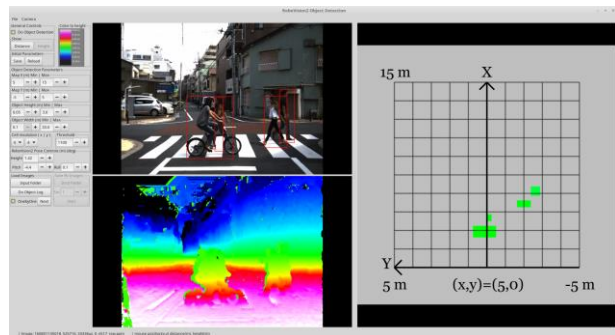
2016年8月3日
株式会社 ZMP

物体検出機能搭載ステレオビジョンシステムを出荷開始

ーソニー製超高感度 CMOS センサを用いたステレオカメラ RoboVision2 で高精度な物体検出を実現。ADAS・自動運転技術開発やロボット技術開発にー

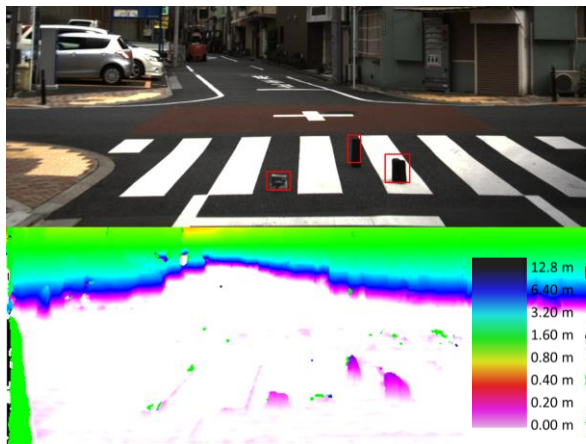
株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒、以下 ZMP)は、本日、ステレオカメラ RoboVision2 を用いた物体検出機能を搭載した「ZMP RoboVision2 物体検出パッケージ」出荷開始いたしました。

現在 ADAS・自動運転技術の開発、またロボット技術の開発において、カメラでの環境認識の重要性はますます高まり、特にカメラだけで距離を算出できるステレオカメラの活用が注目されております。ZMP では 2015 年よりソニー製超高感度 CMOS センサーを用いたステレオカメラ RoboVision2 を研究開発用に販売しておりますが、この度 RoboVision2 で撮影した画像データから距離情報だけでなく、物体を検出することができるソフトウェアを搭載したステレオビジョンシステムを出荷開始いたしました。

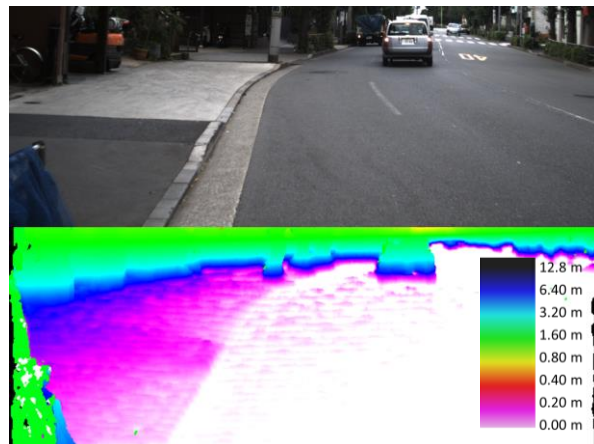


<ソニー製 CMOS センサを用いたステレオカメラ RoboVision2>

<物体検出ソフトウェア>



<路面上の小物体の検出>



<段差の計測例>

【図説明】

上左:ソニー製超高感度 CMOS センサを用いた ZMP ステレオカメラ「RoboVision2」

上右:物体検出ソフトウェアの画面。(左には画像データと距離・高さ情報へ変換したビュー。右にはカメラ位置からの物体座標を上からみたビューで表示)

下左:路面上の小物体の検出例(上は画像と検出結果。下は高さ情報へ変換したビュー)。基準路面(白)から高さ 15cm 程度の物体が精度良く検出されている。

下右:段差の計測例(上は画像データ。下は高さ情報へ変換したビュー)。基準路面(白)から高さ 15cm 程度の縁石が精度良く計測されている。



本製品は、ステレオカメラでの視差画像から算出した距離情報に加え、検出した物体の大きさ(幅、高さ、奥行き)、物体のカメラからの位置座標をリアルタイムにビジュアル表示します。物体検出範囲の設定や検出するサイズの設定も GUI 上で容易に設定可能になっております。本システムを用いることで、高さ 10cm 程度の物体の検出も可能で、道路上の小物体の検出や段差を精度良く検出することができます。物体の検出結果は対象物の ID とともに位置や大きさの情報が出力可能です。距離計測はエッジ検出等の条件が揃えば 130m の距離で誤差 1%以下の精度を実現しています(当社計測)。

本製品は、自動車の ADAS・自動運転技術開発やロボット技術開発など、ステレオカメラ画像による周辺環境認識を利用したシステムの研究開発へご活用頂くことができます。

なお、本製品は、8 月 31 日(水)～9 月 2 日(金)ベルサール六本木にて開催される、「ZMP フォーラム 2016」にて紹介いたします。

価格は、RoboVision 2 本体・処理 PC・物体検出ソフトウェアのセットで 170 万円(税別)、すでに RoboVision 2 をお持ちの方向けには物体検出ソフトウェアのみで 50 万円で本日より出荷いたします。

【価格】

RoboVision 2 物体検出パッケージ 170 万円(税別)

(RoboVision 2、物体検出オプション、PC のセット)

RoboVision 2 PC セットパッケージ 120 万円(税別)

(RoboVision2、PC のセット)

RoboVision 2 物体検出オプション 50 万円(税別)

(RoboVision2 をお持ちの方向け。別途カメラキャリブレーションが必要)

RoboVision 2 本体 80 万円(税別)

【製品紹介 HP】

<http://www.zmp.co.jp/products/rv2-objectdetection>

【展示会出展情報】

ZMP フォーラム 2016

http://www.zmp.co.jp/products/8th_forum

会期:2016 年 8 月 31 日(水)～9 月 2 日(金) 10:00～18:00

会場:ベルサール六本木

【本件に関するお問合せ】

株式会社 ZMP 営業部 TEL: 03-5802-6901 / FAX: 03-5802-6908 E-Mail: info@zmp.co.jp

【株式会社 ZMP】

<http://www.zmp.co.jp/>

本社: 東京都文京区

代表取締役社長: 谷口 恒



「Robot of Everything 人が運転するあらゆる機械を自動化し、安全で、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ADAS(先進運転支援)、自動運転技術開発用プラットフォーム RoboCar®シリーズ及びセンサ・システムの開発・販売、②移動体メーカ(自動車、商用車、建設機械、農業機械、物流搬送機器、屋外作業機械等)向け自動運転等の開発支援、実験代行 RoboTest®、③物流支援ロボット CarriRo®の開発・販売を行っています。2015 年 5 月には DeNA と人の移動を楽にする「ロボットタクシー(株)」を、8 月にはソニーモバイルコミュニケーションズと自律型無人航空機を用いた産業用ソリューションを開発・提供する「エアロセンス(株)」を設立するなど、ZMP は世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。